

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	情報リテラシー II (CR)		(TCR209)
講義名（コード）	TCR_情報リテラシー II_A		(TCR209A)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	佐々木 隆一	時間数	30
成績評価教員	佐々木 隆一	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義／演習・実習

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	前期に引き続き、本学の教育理念に基づき情報リテラシーのスキルアップとキャリアを自ら形成・発展させる。
全体の内容と概要	表計算ソフトExcelを中心に、1年次に学習した基本を踏まえビジネス上よく使用される計算式や関数及びデータベース機能などについて学習し、さらに演習により学んだ知識を定着し発展させる。
授業時間外の学修	余力がある人は、ドリルやオプションの問題に積極的に取り組むこと。
履修上の注意事項等	教科書は毎回必ず持参すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	期末試験を受験し、かつ原則として出席率が60%以上。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション Excel概要・基本用語の理解	Excelの基本用語と画面構成/構成要素 基本操作練習（p 100-115）
2	基本操作をマスターする	範囲指定/書式設定/印刷の方法 練習9&10演習/オプション課題
3	よく使われる計算式と関数1	ビジネスでよく使われる用語と計算式 練習12・13・14/オプション課題
4	よく使われる計算式と関数2	関数のネスト/端数処理/論理関数 演習
5	よく使われる計算式と関数3	関数のネスト/端数処理/論理関数 練習15&16演習/オプション課題
6	よく使われる計算式と関数4	IF関数とVLOOKUP関数について VLOOKUP関数の利用(ドリル p 47-48)/演習(ドリル p 49)
7	グラフ作成の基本	用語の理解/グラフリボンの機能と操作（p 153-169） 練習17&18演習
8	適切なグラフを作成できる	いろいろなグラフ（p 169-176）/レーダーチャート・複合グラフ作成 グラフの印刷/練習19&20&21演習
9	グラフの活用演習	演習：ドリル p 33-34、p 53-54、p 55-56他
10	データベース機能の活用1	用語の理解/データリボンの機能と操作 演習：ドリル p 37-40、p 41-43
11	データベース機能の活用2	データベース機能の活用 演習：ドリル p 63-65
12	総合演習	「基本演習」総合8（p210）&総合9（p211）他
13	まとめと補足	補足説明/質疑応答他
14	期末試験	
15	再試・フィードバック	再試/フィードバック 自由研究

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ISBN：978-4908434358 書籍名／出版社：Office基礎と情報モラル（Office2019対応）/noa出版
参考文献・資料等	「よくわかるExcel2019ドリル」/FOM出版
備考	